

上町線の前身は大阪馬車鉄道。軌道に乗った客車を馬が引っ張っていた。同線は1909年に南海鉄道が天王寺西門前から住吉神社前までの運転営業をはじめた＝大阪市、天王寺駅前



# 路面電車と歴史を満喫

「ちんちん電車の旅」

文化や歴史を生かした「旅」を開いた。まちづくりを実践する市。同一イベントは、阪堺電車「浜寺駅前」駅で大阪民団「堺なんや衆」が軌道が利用者低減からすると、降り返して上町(岡田明賢理事長)は「堺市内の路線廃止を検討」堺の「天王寺駅前」駅に九日、堺市と大阪市を走っているのを、同団「到着」阿倍野かいわいの路面電車の全線を走破体が「乗って残そう」と名所などを訪ねた後、しながら、各地の名所旧「恵美須町」駅か「住吉」駅を巡る「ちんちん電車」堺市の「大小路」駅か、方面に向かった。沿線に

ちんちん電車に向かい終は両市の歴史で結び付きのある場所も多く、参加者は路面電車と歴史の旅を満喫していた。(豊野由憲記者)

## 大阪 ちんちん電車

阪堺線「浜寺駅前」の東側にある南海本線「浜寺公園駅」。1907年築造の洋風木造駅舎で「辰野片岡事務所」が設計、登録したとされ、国の登録文化財にも指定されている

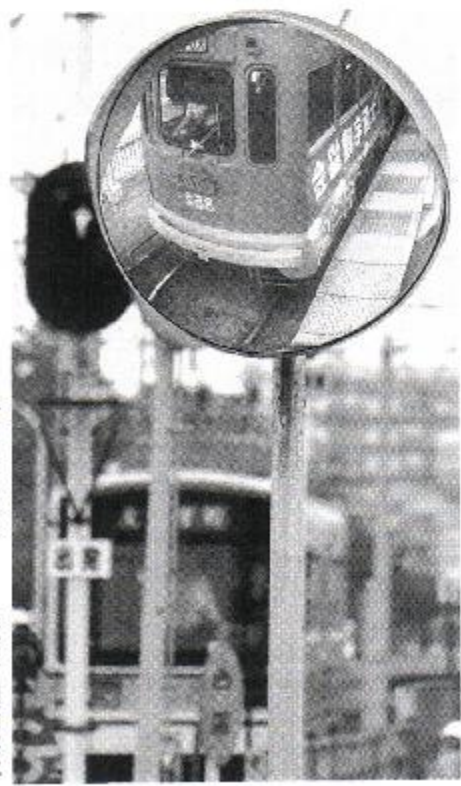


言わずと知れた大阪のシンボル「通天閣」(103m)。「天に通ずる高い建物」が名前の由来ともいわれ、設計者は内藤多仲で東京タワーと同じ。塔出身の将棋の棋士「阪田二吉」とも縁が深い



「天下茶屋」駅から東に歩くと「正圓寺」。堺出身の茶人千利休が師事した武野紹鷗(なげのじゅおう)が愛したとされる手水(ちょうす)鉢が残っている

堺市内の路線は、1910年設立の旧阪堺電気軌道が12年に完成させた。現在は利用者が減少し、廃線の危機を回している＝堺市、浜寺駅前



大阪日日新聞